

みずほCustomer Desk Report 2016/05/11号(As of 2016/05/10)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	108.48 AUD/USD
TKY 9:00AM	108.37	1.1384	123.37	0.9714	1.4408	0.7316
SYD-NY High	109.35	1.1410	124.41	0.9762	1.4477	0.7375
SYD-NY Low	108.27	1.1359	123.31	0.9700	1.4390	0.7300
NY 5:00 PM	109.27	1.1373	124.23	0.9761	1.4443	0.7365
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.885/10.335		△25RR	1.153	Yen Call Over	

NY DOW	17,928.35	222.44	債券市場	日本2年債	-0.2440	▲0.3bp
NASDAQ	4,809.88	59.67		日本10年債	-0.0850	1.0bp
S&P	2,084.39	25.70		米国2年債	0.7220	1.6bp
日経平均	16,565.19	349.16		米国5年債	1.2093	1.6bp
TOPIX	1,334.90	28.24		米国10年債	1.7613	1.1bp
シカゴ日経先物	16,805	505.00	為替市況	独10年債	0.1240	▲0.2bp
ロンドンFT	6,156.65	41.84		英10年債	1.4040	▲0.7bp
DAX	10,045.44	64.95		豪10年債	2.3020	▲1.8bp
ハンセン指数	20,242.68	85.87		USD/CNH	6.5367	▲0.0044
上海総合	2,832.59	0.48		ドルインデックス	94.29	0.16
USDJPY 3M Vol	11.04	0.17%	商品市況	CRB指数	180.281	3.25
USDJPY 6M Vol	10.85	0.15%		NY金	1,264.800	▲1.80
EURJPY 3M Vol	11.51	0.15%		WTI	44.660	1.22
EURJPY 6M Vol	11.16	0.12%		Dubai Spot	40.32	▲1.89

東京	東京時間のドル円相場は108.37レベルでオープン。麻生財務相が「米為替報告書で日本の為替政策は制約されない」「一方的に偏った状況が続くのであれば介入するのは当然のことだ」と発言したことや、中国4月CPIの結果が市場予想と一致した他、中国4月PPIが前年比-3.0%と予想(同-3.7%)されたほど悪化していなかったこと等を背景にドル円は108.80台まで上昇。その後、一旦は108円台半ばまで弱含む局面があったものの、後場の日経平均株価が前日比300円超高で推移したこと等がサポート材料となってドル円は東京時間高値108.89まで上昇。結局、108.71レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は買い優勢。108.71レベルでオープン後、東京時間の麻生財務相の発言が再び意識され上昇、約2週間ぶりに109円を回復した。その後は、原油価格の下落に伴い小幅ながら売りに押される局面が見られるも底堅さは継続し、結局109.20レベルでNYに渡った。ユーロドルは小幅下落。1.1389レベルでオープン後、独仏の3月鉱工業生産が予想を大幅に下回るも、反応は限定的でもみあい推移。その後、独DAXを中心とした欧州株が原油下落につられて上昇幅を縮小させたことを背景に売り優勢となり、1.1366レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	ドル円は109.20レベルでNYオープン。本日は主要な米経済指標の発表が予定されていない中、朝方はドル売りが先行し、109円ちょうど近辺での推移が暫く続くが、株式市場が原油価格の上昇等を背景に大幅に上昇する動きに連れてドル円は109.35まで上昇する。午後は、新規材料に掛ける中、109.30近辺での推移が続き、結局109.27レベルでクローズした。一方、ギリシャの債務軽減に関するヘッドラインが意識され、ユーロドルは狭いレンジでの推移に終始し、1.1366でNYオープン。朝方は、ドル売りが先行したことから、一旦1.1410まで上昇する場面があったものの、次第に上値を切り下げ1.1366まで反落する。終盤に掛けては、新規材料待ちから狭いレンジでの推移が続き、結局ユーロドルは1.1373レベルでクローズした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 矢野・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月10日	10:30	中 CPI/PPI(前年比)	4月 2.3%/-3.4%	2.3%/-3.7%
	15:00	独 鉱工業生産(前月比/前年比)	3月 -1.3%/0.3%	-0.2%/1.1%
	15:00	独 貿易収支/経常収支	3月 26.0B/30.4B	20.6B/25.0B
	15:45	仏 鉱工業生産(前月比/前年比)	3月 -0.3%/-0.8%	0.7%/0.5%
	15:45	仏 製造業生産(前月比/前年比)	3月 -0.9%/-1.1%	0.6%/1.2%
	16:15	米 ダドリー・ニューヨーク連銀総裁 講演	-	-
	17:30	英 貿易収支	3月 -£3.830M	-£4.200M
	23:00	米 卸売在庫(前月比)	3月 0.1%	0.1%

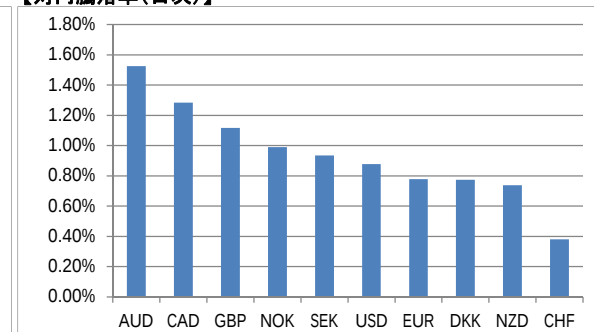
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月11日	09:30	豪 ウェストバック消費者信頼感指数	5月 -	95.1
	14:00	日 景気先行CI指数/景気一致指数(速報)	3月 96.3/111.2	96.8/110.7
	17:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	3月 0.5%/-0.4%	-0.3%/-0.5%
	17:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	3月 0.3%/-1.9%	-1.1%/-1.8%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-3.4%
5月12日	03:00	米 月次財政収支	4月 \$107.0B	\$156.7B

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.00-109.50	1.1350-1.1400	123.80-124.80

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外ドル円相場は「動意薄の中、底堅く推移」。6日の米雇用統計後のショートカバーも一服となる中、原油相場の上昇もサポート材料となって1ドル=109円台前半での推移となった。本日は「手掛かり材料難となる中、方向感を探る展開」を予想。日中は目立った指標の発表もなく手掛かり材料難となるが、海外株式相場の大暴落など市場センチメントが幾分改善していることはドル円相場のサポート材料となろう。方向感に欠ける中、109円台前半でのレンジトレードを予想。